

令和3年度 信濃教育会教育研究所 研修員募集案内

学び合う場としての研究所への参加を期待します

信濃教育会教育研究所 所長 佐伯 胖

信濃教育会教育研究所は、昭和22年全国に先駆けて、教育会によって自主的に運営される研究所として創立されました。以来70年余の間、教育問題の実践的研究と現職教育の場として、730名を超える先生方が学んできました。

研究は実践に即した事例研究を中心とし、実践の“振り返り”と“学び合い”を重視しています。これまでの実践の歩み、現在の実践を振り返り、それに基づいて研修員・研究所スタッフとの共同の学び合いによって、各自の成長を目指しています。また、教師としての視野、識見を広めるために、テーマ研究会の他に、1年次研究会、協力校・施設等での実践実習、他校の研究発表会への参加による研修も行っています。

研究の成果は、会員及び長野県教育に還元するために、教育研究所研究紀要を発行し、県内4地区での研究発表会で報告しています。本研究所の運営は、各郡市教育会代表による運営委員会により行われ、教育会・会員によって支えられています。大勢の皆さんの応募を期待します。

教育研究所のテーマ

第1テーマ 教師と子ども、子ども相互の関係づくりをどうすすめるか

学級づくりの基本は、子どもの個性を生かし、ともに生き、ともに学び合う共同性を育てることであり、教師と子ども、子ども相互の学び合いの関係づくりと不可分である。新たな実践を拓く支援について事例に即して考える。

※関係づくりにかかわり、不登校、情緒不安定、発達障がいなどの視点からも子どもをどのように受け止めるのかを問い直し、具体的な事例に即して支援を考える。

第2テーマ 子どもの学びをどのように充実させるか

子どもはどのように豊かな学びを生み出すのか。また、子どもは、どのように学ぼうとしているのか。子どもの主体的な学びが問われている。子どもの学力の質について事例に即して考える。

※総合的な学習の時間や教科にかかわり、子どもは、どのように学ぼうとしているのかという学びの基本的な問いに立ち返り、子どもの学力や意欲についても考える。

第3テーマ 子どもの願いに立った授業づくりをどうすすめるか

授業づくりを軸とする学校づくりは不易の課題であり、今、改めて問われている。教師の資質や指導力の問題を、子どもの願いに立った授業づくりの観点から事例に即して考える。

※子ども理解、教材研究などの視点や複式などの異年齢における学びといった視点から、各教科教育の授業づくりとその充実について考える。

研究体制

現今の教育課題の研究とテーマの検討・設定	
《1年次研修員》定例研究会	
県教委の公募選考を経て入所。各自のテーマを所長・部長・兼任所員の助言のもとに研究する。	年間24回のテーマ研究会をとおして、研究を深め、中間・最終の報告会を持つ。
《2年次研修員》定例研究会	
現場に戻り、実践をとおして研究し、論文としてまとめる。	年間12回のテーマ研究会をとおして、実践的に研究を深め、中間の報告会を持ち、研究紀要にまとめる。

研修・参画の場

研修員のための研修会
・1年次研究会 所長講義による学習会 読み合わせ会、輪読会 等 研修員同士のミニテーマ研究会
・協力校、施設等での実践実習
・実践を語る会
・学校現場の授業実践に学ぶ 授業参観、研究大会、院報告会等
研究所 研究発表会
研修員は、3年目に県内4地区で実践研究の成果を発表する。

令和3年度 信濃教育会教育研究所 研修員募集要綱

1 目 的

本県教育振興の一方策として、県内教職員が信濃教育会教育研究所へ入所し、一定のテーマに従って研究する。

2 期 間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで（引き続き学校現場で2年次研修をする）

3 応募資格

- （1）5年以上本県内の各種の公立学校に教諭として勤務し、現在引き続きその職にあること。
- （2）研修後、本県教職員として教育振興のために貢献しようとする意思が強固なこと。
- （3）所属学校長の推薦を得ていること。

4 研究テーマ

第1テーマ 教師と子ども、子ども相互の関係づくりをどうすすめるか

第2テーマ 子どもの学びをどのように充実させるか

第3テーマ 子どもの願いに立った授業づくりをどうすすめるか

5 募集人員

各テーマにつき、若干名とする。

6 研修員の決定

応募者の中から選考して令和3年1月末日までに、長野県教育委員会において決定する。

7 応募の方法及び期限

応募者は次の書類を令和2年10月21日（水）までに市町村教育委員会へ提出する。

（様式については、長野県教育委員会の示したものによる）

（1）研修派遣願（様式第1号）

（2）添付書類

① 履歴書（様式第2号）

（出身大学、学部、学科、専攻、卒業論文題目及び指導教授名等を明記。※写真添付）

② 研究歴（様式第3号）

③ 研究テーマについて（様式第4号）

（「志望テーマと研究の窓口とする教科名領域名等」及び「研究内容」を第一志望、第二志望について各1000字以内で簡潔に記す）

④ 校長の意見（推薦）書（様式自由）

8 出願書類の経由

（1）市町村立学校の教員の出願書類は校長、市町村教育委員会（学校組合教育委員会を含む）及び所轄の教育事務所長を経由し、義務教育課長へ提出する。

（2）県立学校の教員の出願書類は校長を経由して、主管課長へ提出する。

入所にあたって

研究所入所後は、自分の実践の具体を通して「振り返り」を行います。その際、自分の授業の単元・題材等を通したビデオ記録（子どもの発言、つぶやき、表情等のわかるもの）を主に、それにかかわる学習カード・授業記録等の資料がもとになります。授業は、日々ごく普通に実践されているものでかまいません。共同研究の記録ではなく、自身の実践記録をご用意ください。